

令和2年度 第3回

由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会

と き 令和3年2月9日（火）
午前10時～
ところ 由利本荘市消防本部4階「大会議室」

～ 次 第 ～

1 開 会

2 あいさつ

会長 由利本荘市長 長谷部 誠

3 報告事項

報告第1号 新型コロナウイルス感染症対策支援事業の進捗状況について

報告第2号 由利高原鉄道（株）第37期実績報告（令和2年度）並びに
令和2年度由利本荘市コミュニティバス等運行実績報告について

4 議 事

議案第1号 由利本荘市地域公共交通網形成計画の実施事業等の検証について

議案第2号 乗り[逢い]交通事業の実施について（本荘地域石沢地区）

議案第3号 乗り[逢い]交通事業の運行範囲拡大について
（由利地域小菅野集落）

議案第4号 令和2年度鉄道軌道安全輸送設備等整備事業【三次補正予算】の
実施について（由利高原鉄道株式会社）

5 その他

6 閉 会

令和 2 年度 第 3 回 由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会出席者名簿

【委員】

※敬称略／備考欄の職氏名は代理出席者

区分	所属	職名	氏名（委員名）	備考
1号	由利本荘市	市長	長 谷 部 誠	
2号	東日本旅客鉄道株式会社秋田支社	総務部長	酒 井 宏 彰	総務部企画室副課長 清水 大
	由利高原鉄道株式会社	代表取締役社長	萱 場 道 夫	経営戦略課長 太田 晃一
	羽後交通株式会社	取締役社長	齋 藤 善 一	営業担当次長 平元 久雄
	一般社団法人秋田県ハイヤー協会	本荘由利支部長	小 石 和 弥	
	秋田県由利地域振興局	建設部長	京 谷 仁 美	
3号	由利本荘警察署	署長	小 林 仁	交通課長 稲葉 勝
	国土交通省東北運輸局	鉄道部長	保 刈 芳 信	(欠席)
	国土交通省東北運輸局	秋田運輸支局長	五 十 嵐 誠	首席運輸企画専門官 鈴木 喜輝
	秋田県観光文化スポーツ部	交通政策課長	小 松 勝 統	副主幹 吉尾 千秋
	秋田県由利地域振興局	総務企画部長	畠 山 義 人	
	由利本荘市商工会	会長	村 岡 淑 郎	
	由利本荘市観光協会	会長	村 岡 淑 郎	
	秋田しんせい農業協同組合	代表理事組合長	小 松 忠 彦	(欠席)
	一般社団法人由利本荘医師会	会長	渡 邊 廉	(欠席)
	由利本荘市教育委員会	教育長	秋 山 正 毅	
	由利本荘市校長会	会長	田 口 良 徳	
	由利本荘市PTA連合会	会長	高 橋 稔	(欠席)
	由利本荘・にかほ地域生徒指導研究 推進協議会	高校部会長	熊 澤 耕 生	(欠席)
	由利本荘市身体障害者協会	会長	三 浦 良 明	
	由利本荘市婦人団体連絡協議会	会長	土 田 典 子	
	由利本荘市老人クラブ連合会	会長	前 川 侖	
	公益社団法人由利本荘青年会議所	理事長	鈴 木 賢 幸	
	鳥海山ろく線運営促進連絡協議会	会長	正 木 正	
	由利本荘市企画調整部	部長	三 森 隆	(欠席)
	本荘地域公共交通利用者		菅 原 真 理	(欠席)
矢島地域公共交通利用者		佐 藤 久 美		
岩城地域公共交通利用者		川 上 幸 一	(欠席)	

【委員】

※敬称略／備考欄の職氏名は代理出席者

区分	所属	職名	氏名（委員名）	備考
3号	由利地域公共交通利用者		多 田 厚	
	大内地域公共交通利用者		菊 地 洋	(欠席)
	東由利地域公共交通利用者		長 谷 山 博 昭	
	西目地域公共交通利用者		鷹 島 恵 一	
	鳥海地域公共交通利用者		高 橋 荘 一	(欠席)
	秋田大学	准教授	日 野 智	
	秋田県立大学	准教授	星 野 満 博	

【運営組織代表者】

所属	職名	氏名	備考
石沢地域振興会	会長	猪 股 則 雄	
	集落支援員	佐 々 木 順 一	

【交通事業者】

所属	職名	氏名	備考
羽後交通（株）事業本部 輸送課	課長補佐	金 谷 文 之	

【各種団体】

所属	職名	氏名	備考
由利本荘市婦人団体連絡協議会	副会長	潟 保 博 子	

【事務局：地域振興課及び各総合支所】

所属	職名	氏名	備考
企画調整部 地域振興課	課長	木 内 卓 朗	
	班長	三 浦 利 彦	
	主席主査	伊 藤 善 裕	
矢島総合支所 市民サービス課 振興班	主査	東 海 林 ひろ子	
岩城総合支所 市民サービス課 振興班	主事	澤 田 啓 吾	
由利総合支所 市民サービス課 振興班	主査	小 田 嶋 一 成	
大内総合支所 市民サービス課 振興班	参事兼課長補佐	太 田 純 哉	
東由利総合支所 市民サービス課 振興班	主査	長 澤 辰 徳	
西目総合支所 市民サービス課 振興班	主事	阿 部 林 太 郎	
鳥海総合支所 市民サービス課 振興班	主査	豊 島 隆 浩	

新型コロナウイルス感染症対策支援事業

<地域公共交通利用促進緊急対策事業>進捗状況

新型コロナウイルス感染症の影響により利用客が大幅に減少している公共交通機関の利用喚起を図るため、乗車券等の割引販売などを行う交通事業者に対し割引分を助成する補助事業を実施中であり、進捗状況は以下のとおりです。

R2.7.15
市広報より抜粋

◇新型コロナウイルス感染症対策 追加支援事業

6 地域公共交通利用促進事業
(交通事業者が実施する割引に対する支援)

問 地域振興課
☎ 24-6378

いずれの事業も予算額に達し次第割引終了します

割引開始 ~ R2.12 末
補助金執行状況

路線バス応援事業 [羽後交通]

割引内容 ●回数券：50%引き
●ゴールドフリー定期券：50%引き
販売期間 7月20日(月)～令和3年2月28日(日)

回数券：5,605,000円
GF券：395,000円
執行額：6,000,000円
予算額：6,000,000円
補助執行率：100%

3セク鉄道応援事業 [由利高原鉄道]

割引内容 ●団体乗車券：50%引き
●貸し切り列車：75%引き
●各種フリー券：25～50%引き
(上記は一部県補助を含めた割引きです)

販売・利用期間
7月1日(水)～令和3年2月28日(日)

団体乗車：235,250円
貸切列車：828,000円
フリー券：1,322,000円
執行額：2,385,250円
予算額：2,750,000円
補助金執行率：86.7%

タクシー応援事業 [市内タクシー業者]

割引内容 ●初乗り運賃：500円割引き
※降車時に次回利用可能な割引券を配布。
(初回は通常料金の支払いが必要)

配布・利用期間
7月20日(月)～令和3年2月28日(日)

準備枚数：20,000枚
使用枚数：15,544枚
執行額：7,772,000円
予算額：10,000,000円
補助金執行率：77.7%

【留意事項】

・上記金額は補助金の執行額であり、各交通事業者の「販売額」ではありません。

例) 路線バス回数券 = 50%補助

⇒ 販売額 11,210,000円 * 補助率 50% = 執行額 5,605,000円

由利高原鉄道(株) 第37期実績報告 (R2.4月～R2.12月分)

○輸送人員

	定期外					
	矢島	前郷	本荘	本社扱い	普通計	ワンマン
令和元年度(36期)	9,178	2,857	14,755	2,018	28,808	4,652
令和2年度(37期)	7,659	1,453	8,791	1,673	19,576	3,733
対前年差	Δ1,519	Δ1,404	Δ5,964	Δ345	Δ9,232	Δ919
対前年比	83.4%	50.9%	59.6%	82.9%	68.0%	80.2%

○運輸収入

	定期外					
	矢島	前郷	本荘	本社扱い	普通計	ワンマン
令和元年度(36期)	4,330,944	878,505	6,502,674	760,463	12,472,586	1,298,383
令和2年度(37期)	2,714,217	496,920	2,998,262	812,148	7,021,547	1,045,337
対前年差	Δ1,616,727	Δ381,585	Δ3,504,412	51,685	Δ5,451,039	Δ253,046
対前年比	62.7%	56.6%	46.1%	106.8%	56.3%	80.5%

※本社扱い：通販・車内販売・書泉グランデの販売扱い

報告第2号

(単位：人)

		定期外計	定期		定期計	総合計
回数券	団体		通勤	通学		
6,303	9,533	49,296	16,050	62,878	78,928	128,224
6,358	4,548	34,215	15,338	53,324	68,662	102,877
55	Δ 4,985	Δ 15,081	Δ 712	Δ 9,554	Δ 10,266	Δ 25,347
100.9%	47.7%	69.4%	95.6%	84.8%	87.0%	80.2%

(単位：円、税込)

		定期外計	定期		定期計	総合計
回数券	団体		通勤	通学		
2,406,561	3,940,746	20,118,276	3,847,490	11,253,888	15,101,378	35,219,654
2,568,097	3,241,986	13,876,967	3,322,452	8,283,680	11,606,132	25,483,099
161,536	Δ 698,760	Δ 6,241,309	Δ 525,038	Δ 2,970,208	Δ 3,495,246	Δ 9,736,555
106.7%	82.3%	69.0%	86.4%	73.6%	76.9%	72.4%

由利本荘市コミュニティバスの乗車実績（12月末）

報告第2号

対象期間：令和2年4月～令和2年12月
下段（）内は令和元年4月～12月乗車実績

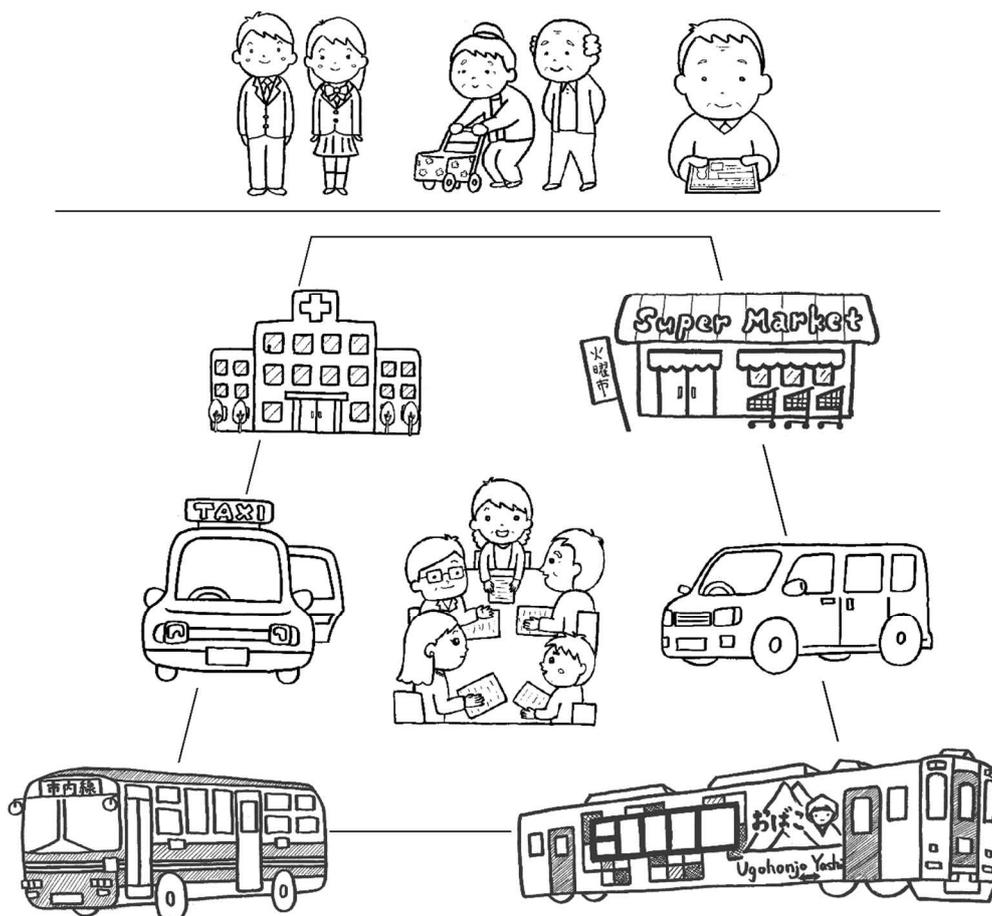
地域	路線名	令和2年度 運行内容	路線別			地域別		
			運行便数 (便)	乗車人数 (人)	乗車率	運行便数 (便)	乗車人数 (人)	乗車率
			①	②	②/①	③	④	④/③
本 荘	循環バス（御門町）	毎日運行（日祝5便） 1日9循環	2,275	7,742	3.4	5,579 (5,531)	16,152 (19,275)	2.9 (3.5)
	循環バス（八幡下）		(2,258)	(8,982)	(4.0)			
	子吉線（西地区）	週2日運行 1日7便	511	603	1.2			
	子吉線（東地区）		(490)	(522)	(1.1)			
			518	606	1.2			
			(525)	(548)	(1.0)			
矢 島	桃野線	週3日運行 1日2便	224	35	0.2	224	35	0.2
			(218)	(47)	(0.2)	(218)	(47)	(0.2)
岩 城	岩城線（君ヶ野行き）	週5日運行 1日12便	1,098	3,467	3.2	2,782 (2,734)	7,247 (8,102)	2.6 (3.0)
	岩城線（滝俣行き）		(1,086)	(4,053)	(3.7)			
	南沢線	週3日運行 1日4便	440	578	1.3			
	道川北線		146	195	1.3			
			(150)	(134)	(0.9)			
大 内	中田代線	毎日運行（土日祝8便） 1日12便	2,928	6,750	2.3	6,788 (6,774)	11,855 (14,849)	1.7 (2.2)
	高尾線	毎日運行（土日祝8便） 1日10便	(2,944)	(8,584)	(2.9)			
	羽広－軽井沢線	週6日運行 1日6便	2,534	3,675	1.5			
			(2,528)	(4,424)	(1.8)			
			1,326	1,430	1.1			
			(1,302)	(1,841)	(1.4)			
東由利	八塩線	週5日運行 1日7便	1,295	1,661	1.3	2,213 (2,201)	2,633 (2,663)	1.2 (1.2)
	法内線	週3日運行 1日7便	(1,302)	(1,688)	(1.3)			
	大吹川線	週2日運行（全予約制） 1日4便	784	723	0.9			
			(763)	(765)	(1.0)			
			134	249	1.9			
			(136)	(210)	(1.5)			
西 目	西目線	週6日運行（土曜4便） 1日10便	1,986	1,777	0.9	1,986	1,777	0.9
			(1,968)	(2,012)	(1.0)	(1,968)	(2,012)	(1.0)
鳥 海	伏見笹子線	毎日運行（土日祝8便） 1日12便	2,924	3,640	1.2	6,981 (7,080)	6,495 (8,314)	0.9 (1.2)
	伏見笹子線（新沢平経由）	週2日運行 1日2便	(2,906)	(4,954)	(1.7)			
	中直根線	毎日運行（土日祝5便） 1日8便	144	292	2.0			
	猿倉線	週5日運行 1日6便	(134)	(345)	(2.6)			
	皿川線		1,910	1,396	0.7			
			(1,904)	(1,931)	(1.0)			
			905	318	0.4			
			(1,068)	(482)	(0.5)			
			1,098	849	0.8			
			(1,068)	(602)	(0.6)			
合 計			26,553	46,194	1.7	26,553	46,194	1.7
			(26,506)	(55,262)	(2.1)	(26,506)	(55,262)	(2.1)

第5章 地域公共交通網形成計画の基本方針

- ・市で定める上位計画における公共交通の望ましい姿や、市と公共交通の現状を鑑み挙げられている前章における課題を解決する。
- ・現状の交通ネットワークを維持しながら、将来あるべき公共交通の姿を実現するための基本的な方針を定める。

計画の基本方針

持続可能な公共交通体系を構築し、
安心して「おでかけ」できる環境を創る



第7章 目標の評価と進行管理

1、目標の評価

- ・本計画で掲げた事業が的確に行われ、目指すべき公共交通の将来像に近づいているかを評価するため、それぞれの目標に指標を設けて取り組みの成果を測定し、評価していく。

【注】各目標の実績は全て12月時点での数値です

目標1 “使える”公共交通へ

指標1-1 地域間幹線の路線バスの平均運行本数と乗車人数

基準値：平成30年度	目標値：令和6年度
15本/日・15人/便	15本/日・15人/便
令和2年度実績：16本/日・6.4人/便	

【モニタリング方法】

- ・羽後交通（株）が実施する乗降調査の実績をヒアリングし指標とする。

指標2-1 公共交通カバー率

基準値：平成30年度	目標値：令和6年度
74.6%	86.8%
令和2年度実績：75.4%	

【モニタリング方法】

- ・前計画においてモニタリングしてきた、交通空白地域において導入された公共交通機関のカバー率の調査を継続する。

<評価・検証（案）>

- ①地域間幹線の1便当たりの乗車人数が目標から大きく離れているので利用促進の必要性がある。
- ②乗り[逢い]交通事業により若干のカバー率向上を図られた。

<今後の改善点など>

- ③現在取りまとめ中のコミバスと路線バスの接続強化を徹底し、さらに高齢者に対する割引等も絡めながら利用者の掘り起こしを図る必要がある。
- ④乗り[逢い]交通事業やコミバスの改正を含め、引き続きカバー率の向上に努める。

目標2 “自分ごと”の公共交通へ

指標2-1 「対話会」の開催回数

基準値：平成30年度	目標値：令和6年度
14回	20回
令和2年度実績：26回	

【モニタリング方法】

- ・市が町内会や各種会合等において、市民に対して公共交通の現状や、これから求められるものなどを説明し、意見交換を行うものを「対話会」とし、その開催回数を指標とする。

指標2-2 「乗り[逢い]交通」事業の導入件数

基準値：平成30年度	目標値：令和6年度
—	10件
令和2年度実績：2件（小菅野、石脇新山）	

【モニタリング方法】

- ・「乗り[逢い]交通」事業補助金の交付件数を指標とする。

指標2-3 地域別ラッピング導入の台数

基準値：平成30年度	目標値：令和6年度
—	5台
令和2年度実績：2台（鳥海）	

【モニタリング方法】

- ・市コミュニティバスの車両更新に伴い、地域特有のラッピングを施した車両の導入件数を指標とする。

<評価・検証（案）>

- ①「対話会」は全地域に出向き多くの市民と意見交換できた。
- ②乗り[逢い]交通は声のある地域に入り、粘り強く事業実施までバックアップすることができ2件導入できたことは評価できる。

<今後の改善点など>

- ③「対話会」は本年度、町内会と老人クラブに特化して実施したが、各種団体との意見交換を促進するため市広報による幅広い呼びかけも視野に入れる。
- ④乗り[逢い]交通事業は、大きな交通空白地域がある地域に出向きPRしていくことが必要である。

目標 3**“ライフスタイル提案型”の公共交通へ****指標 3-1 スーパーや医療機関の連携件数**

基準値：平成 30 年度	目標値：令和 6 年度
—	15 件
令和 2 年度実績：1 件（グランマート本荘南店）	

【モニタリング方法】

- ・市コミュニティバスの沿線にあるスーパーや医療機関と連携し、互いの利用促進に資する特典制度を導入した件数を指標とする。

指標 3-2 免許自主返納者の市コミュニティバス利用者数

基準値：平成 30 年度	目標値：令和 6 年度
2,014 件	8,000 件
令和 2 年度実績：1,972 件	

【モニタリング方法】

- ・市の割引制度である「市コミュニティバス半額利用者証」を使用してコミュニティバスに乗車した利用者数をカウントする。

<評価・検証（案）>

- ①スーパーや医療機関との連携は、現在取りまとめしている、接続時間付きの時刻表に買い物や通院するための利用パターンを追記することとしており、その完成をもって連携を図っていくこととする。
- ②免許返納者に特化した対策はできなかったため、来年度実施予定の高齢者割引等により推進を図りたい。

<今後の改善点など>

※同上

目標 4

“守って育てる” 山ろく線

指標 4-1 通学定期利用率

基準値：平成 30 年度	目標値：令和 6 年度
22%	40%
令和 2 年度実績：20.8%	

【モニタリング方法】

- ・鳥海山ろく線の沿線である鳥海、矢島、由利地域の高校生の人数に対して通学定期券を購入している人数の割合を指標とする。

※鳥海、矢島、由利地域の高校生

⇒鳥海中学校、矢島中学校、由利中学校の卒業生の人数より

※通学定期券を購入している人数

⇒通学定期券購入時の住所より鳥海、矢島、由利地域居住者を判別

<評価・検証（案）>

- ①路線バスとの調整については、組合病院など中心市街地にある病院に通院する際に路線バスが利用され、通勤・通学などの利用は鉄道が多いという棲み分けがある程度なされているということから定期券割引を鉄道に導入し、羽後交通のゴールドフリー券を割引きするとい方向性のもと煮詰めていくことができた。

<今後の改善点など>

- ②並走区間に関する協議を進めることができなかったため、今後、同時間帯に運行するダイヤをずらすことなどを視野に入れ、由利高原鉄道・羽後交通・市の三者で検討を進める必要がある。

2、目標の進行管理

(1) PDCA サイクルの実施

- ・本計画で掲げた目標を達成するために、的確に PDCA サイクルを実行していく。
- ・PDCA サイクルは、毎年開催する市地域公共交通活性化再生協議会において、各事業の実施状況および達成状況を報告し、有識者・事業者から広く意見・提案等を収集する。
- ・評価結果などは HP 等を通じて公表を行う。

■ Plan

- ・目指す将来像に近づくための目標を設定し、具体的な事業を計画する。

■ Do

- ・体制・役割等を明確に設定し、実際に事業を取り行う。

■ Check

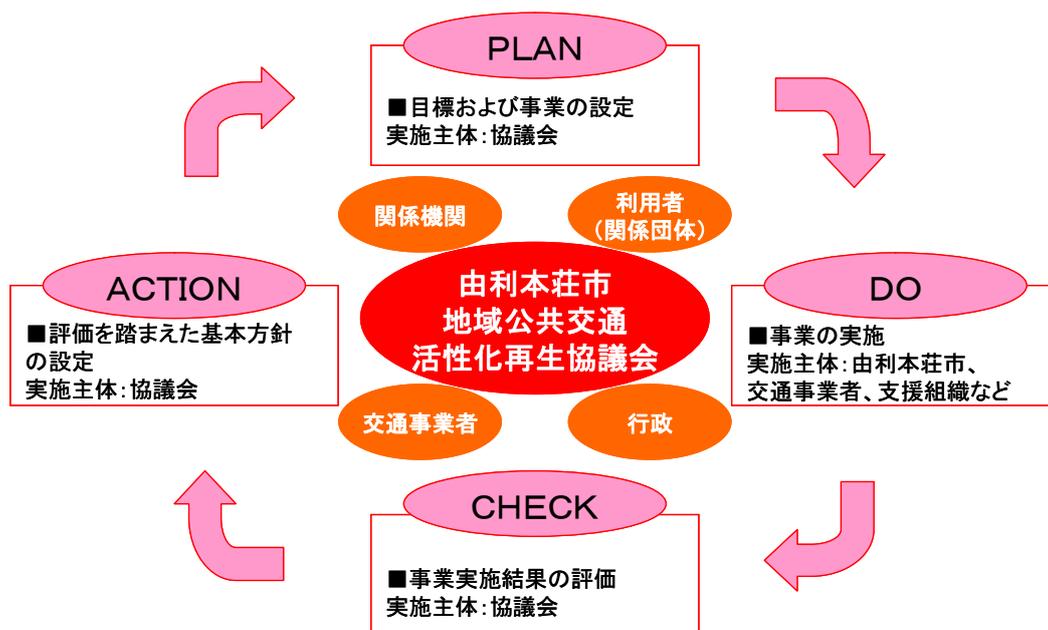
- ・途中で成果を測定・評価する。

■ Action

- ・必要に応じて修正を加える。一連のサイクルが終わったら、反省点を踏まえて再計画へのプロセスへ入り、新たなPDCAサイクルを進める。

(2) 実施体制

- ・本計画の PDCA サイクルは、市地域公共交通活性化再生協議会を中心に、各取り組み事業の実施主体の協力を得て行う。



(PDCA サイクルの実施体制)

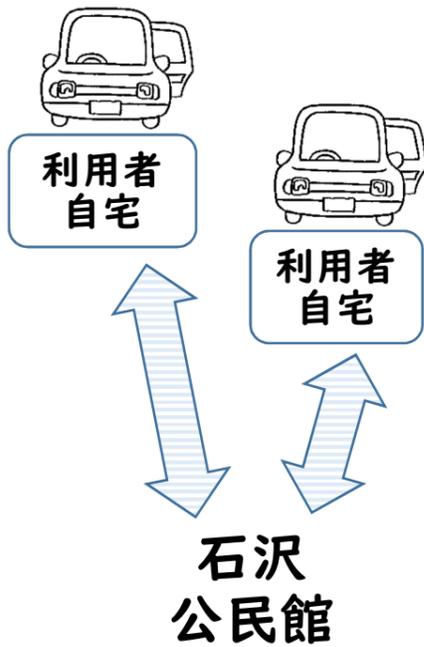
【運行の概要】

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化や過疎化が進み、運転免許の自主返納や独居世帯などの住民が増えている中、生まれ育った地域で安心して暮らしていけるよう、最低限の生活の足を確保しようとするもの。
運営	<ul style="list-style-type: none"> ・石沢地域振興会
運行パターン	<ul style="list-style-type: none"> ・互助による輸送 ・乗合タクシー（道路運送法第4条「一般乗合旅客自動車運送事業」）
運行範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・互助による輸送：「石沢地区内の利用者宅と石沢公民館」間の送迎 ・乗合タクシー：「ナイス本荘インター店と石沢公民館」間の送迎
運行概要	<p>【運行】・毎週「火曜・木曜」※祝日は運休</p> <p> <互助による輸送></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅と石沢公民館の間の送迎 ・1便＝9:00 前後利用者宅発 2便＝10:50 公民館から利用者宅へ出発 3便＝12:40 " 4便＝15:00 " <p> <乗合タクシー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナイス本荘インター店から石沢公民館への送迎 ・10:30 ナイス本荘インター店出発 <p>【開始】6月1日（火）より</p> <p>【利用者】石沢地区住民のうち利用者登録した方</p> <p>【予約先】石沢公民館 （運行日前日の15:00までに電話で予約する）</p> <p>【保険】損保ジャパン日本興亜（株） 移動支援サービス専用自動車保険に加入する</p>
接続する交通網	<ul style="list-style-type: none"> ・羽後交通「東由利線（石沢小学校前）」
配慮すべき交通網	<p><互助による輸送について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス「東由利線」が石沢地区を貫通するような形で運行されているが、地域によってはバス停までが遠く利用することが困難な所が点在する。このことから、自宅から石沢公民館に利用者を集約し、そこから路線バスに乗り換える環境を創ることで、利用促進にも繋げることが可能になる。 ・石沢地区を営業エリアとする光タクシー（株）、本荘タクシー（株）、（有）ハートワン交通に対し事業内容説明を行い、事業実施について内諾を得ている。 <p><乗合タクシーについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルートが重複する路線バス「東由利線」について、運行する羽後交通（株）の内諾を得ている。
運賃	<p><互助による輸送> 片道50円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石沢地区全体を運行対象とすることを想定して走行距離数を想定すると、必要とされる燃料代の実費の範囲内である。 <p><乗合タクシー> 1乗車700円程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗用タクシーのメーター料金に加え、必要経費も考慮した金額を乗車定員で割り返した金額を運賃単価とするもの。
期間	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年6月1日運行開始
運行車両	<ul style="list-style-type: none"> ・互助による輸送に対し市所有のミニバン車両を無償貸与予定

「石沢地域交通」の運行スキーム（運営主体：石沢地域振興課）

- ✓ 利用者宅と石沢公民館を往復する「ボランティア輸送」で路線バスに接続
- ✓ ナイスから公民館への戻りは「乗合タクシー」を運行し利便性を確保

【ボランティア輸送】



<本荘行き>

① 9:00 前後
利用者宅出発
9:20 到着

<石沢戻り>

公民館出発
② 10:50
③ 12:40
④ 15:00

◆石沢地区内全域を範囲とするボランティア輸送を運行

◆運行ルートは利用登録した住民宅から石沢公民館までの送迎

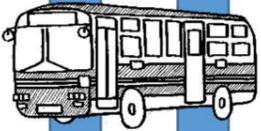
◆9:20 まで石沢公民館に到着するよう、予約した方の家を廻り乗せてくる

◆ナイスに行く方も、本荘方面に行く方も 9:27 発の東由利線に乗車する

【運賃】片道 50 円

【ナイスへお買い物】

路線バス



9:27 出発
9:41 到着

10:30 出発
10:45 到着



■ナイスのすぐ脇に新たにバス停を新設し、買い物の利便性が大幅にアップ

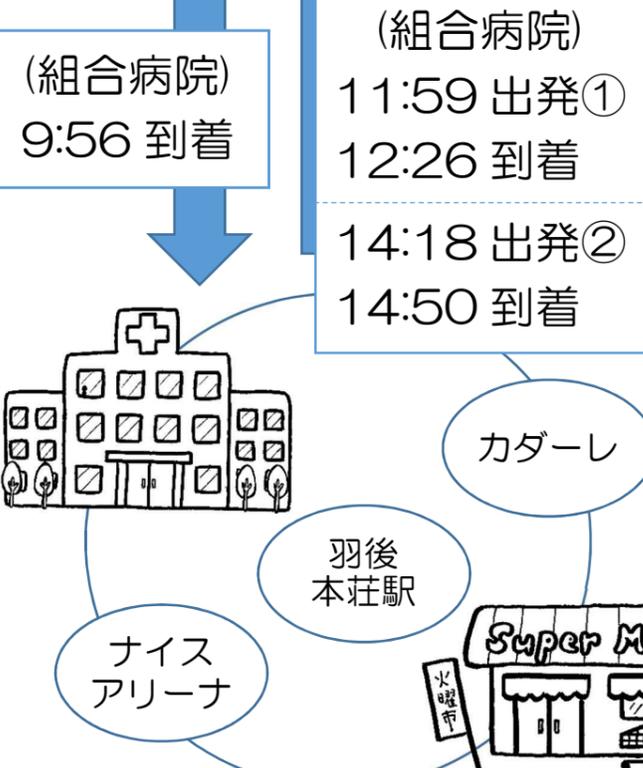
■ナイス行きは「東由利線」、公民館への戻りは「乗合タクシー」を運行し、50 分の買い物時間を確保

■10:12 ナイス出発で石沢に戻る東由利線もあり、乗合タクシーではなく路線バスで帰ることも可能

【運賃】路線バス＝片道 420 円

乗合タクシー＝片道 700 円（予定）

【組合病院や本荘駅、市街地へ】



●参考までに組合病院への行き来を記載しているが、フレッシュグリーンや薬王堂(荒町)、羽後本荘駅、第一病院なども経由

●戻りの路線バス②は、象潟線に乗車し、本荘駅前で横手線に乗り換える

●ボランティア輸送は運行しないが、7:44 に組合病院に到着する東由利線もあり

【運賃】路線バス(行き)＝片道 600 円

(戻り①)＝片道 600 円

(戻り②)＝片道 700 円

【ボランティア輸送・乗合タクシー運行日】 【完全予約制】石沢公民館で予約受付 ☎29-2111
月曜/木曜 (祝日運休) ボランティア輸送・乗合タクシーとも運行前日の午後 3 時まで

乗り[逢い]交通事業の運行範囲拡大について
(由利地域小菅野集落)

【運行の概要】

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年4月から互助による輸送に取り組んでおり、着実に地域住民の足として認識され運行されている。 ・また、本事業をきっかけに「小菅野サロン」を開催しており、地域住民の交流も促進されている。 ・この度、住民ニーズも高く、サロンの場としても利用できる「西滝沢水辺プラザ」にも行けるよう運行範囲を広げようとするもの。
運営	<ul style="list-style-type: none"> ・小菅野集落の安全と生活を守る会
運行パターン	<ul style="list-style-type: none"> ・互助による輸送
運行範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙のとおり
運行概要	<p>【運行】 予約による随時運行 【開始】 令和2年4月3日(金)より運行中 【利用者】 小菅野集落の住民 【予約先】 渡部完治さん 携帯：090-2277-1531 自宅：53-3084 【立寄り】 ・前郷駅、バス停、Aコープ、ニコット、渡邊医院、総合支所、郵便局・信金・農協、ゆりえもんなど前郷地内 ・西滝沢水辺プラザ 【保険】 損保ジャパン日本興亜(株) 移動支援サービス専用自動車保険に加入する</p>
接続する交通網	<ul style="list-style-type: none"> ・由利高原鉄道「鳥海山ろく線(前郷駅)」 ・羽後交通「本荘伏見線(前郷駅前)」
配慮すべき交通網	<ul style="list-style-type: none"> ・前郷地内を営業エリアとする(有)ハートワン交通に対し事業内容説明を行い、事業実施について内諾を得ている。 ・小菅野集落と西滝沢水辺プラザ間に路線バスは運行されていない。
運賃	<ul style="list-style-type: none"> ・前郷地内行き : 1往復 100円(現行運賃) ・西滝沢水辺プラザ行き : 1往復 50円 <p>前郷地内行きと西滝沢水辺プラザ行きのキロ程を参考に、半額の1往復50円とした。</p>
期間	<ul style="list-style-type: none"> ・前郷地内行きは令和2年4月より運行中 ・令和3年4月より運行範囲拡大
運行車両	<ul style="list-style-type: none"> ・市所有のミニバン車両を無償貸与中

乗り[逢い]交通事業の運行範囲の拡大 (由利地域小菅野集落)



鉄道施設総合安全対策事業

令和2年度鉄道軌道安全輸送設備等整備事業【三次補正予算】の実施について

由利高原鉄道株式会社

1. 事業内容

①線路設備 道床交換（事業費 6,000千円）

施工箇所：薬師堂駅構内および薬師堂駅～子吉駅間

ふるい（玉）砂利であり、肩幅も減少しており土砂混入が著しい。排水状況も悪くマクラギが噴泥に埋没している。この状態では道床の機能が確保されず、軌道変位を増大させることとなる。土砂混入（噴泥）の著しい道床を交換することにより、軌道破壊の進行を抑制し保守周期の延伸と安全性を確保する。

②線路設備 道床交換（事業費 6,000千円）

施工箇所：羽後本荘駅構内

ふるい（玉）砂利であり、肩幅も減少しており道床碎石がほとんどなく、土にマクラギを敷いているような状態である。また、排水状況も悪くこの状態では道床の機能が確保されず、軌道変位を増大させることとなる。羽後本荘駅ホーム延伸に伴い道床を交換することにより、軌道破壊の進行を抑止し保守周期の延伸と安全性が向上する。

③線路設備 マクラギのPC化（事業費 12,000千円）

施工箇所：羽後本荘駅～前郷駅間

当線区のマクラギのPC化率は低く、木マクラギの不良率も毎年増加傾向にある。連続不良箇所も増加傾向にあり軌間拡大が懸念される。連続不良箇所を重点に不良木マクラギをPC化するとともに、羽後本荘駅構内の連続不良箇所も重点としてPC化することにより、連続不良箇所を解消し軌間保持等の安全性の向上及び保守周期による修繕費の縮減を図る。

④線路設備 橋マクラギ交換（事業費 10,000千円）

施工箇所：子吉川橋梁（西滝沢駅～吉沢駅間）

マクラギは国鉄時代からの橋マクラギで、著しく腐敗しているマクラギが多く安全輸送を確保する観点からも新しく交換し安全を確保する。

⑤線路設備 分岐器融雪設備更新（事業費 15,000千円）

施工箇所：前郷駅構内（21号ポイント、51号ポイント）

30年以上冬期間、融雪装置を使用している。経年劣化による老朽化が進み、灯油使用の融雪装置の交換部品も現在製造していないことから今年度、灯油使用の融雪装置からガス使用の融雪装置に更新し、融雪によるポイントの正確な切り替えで列車の安全運行を確保する。

⑥線路設備 分岐器材料交換（事業費 2,200 千円）

施工箇所：前郷駅構内（51号ポイント、21号ポイント）

冬季、融雪装置の使用により分岐器の床板、ボルトの腐食が進行し軌間拡大が懸念される。これを交換することにより軌間保持による安全性が確保され、保守周期の延伸による修繕費の縮減が図られる。

⑦線路設備 道床砕石化（事業費 2,200 千円）

施工箇所：久保田駅～西滝沢駅間

ふるい（玉）砂利の箇所で経年により、道床不足箇所が顕著になってきている。軌道整備を行う上においても絶対的に必要な軌道材料であり、基本道床（断面）形状の確保及び張り出し事故防止の観点からも計画的に行いたい。

⑧停車場設備 ホーム改修（事業費 18,000 千円）

施工箇所：薬師堂駅

国鉄時代からのホームで、マクラギで土留めして作られており、路盤の老朽化とマクラギの腐食が進行して線路側へ、ホーム土砂流出の危険性がある。このホームを嵩上げし、バリアフリー化する改修工事を行うことにより乗客の安全確保と列車の安全運行が確保される。

2. 事業費および財源内訳

（単位：円）

区分	事業費	財源内訳	
		国費（1/3）	県（2/3）
①線路設備（道床交換）	6,000,000	2,000,000	4,000,000
②線路設備（道床交換）	6,000,000	2,000,000	4,000,000
③線路設備（マクラギPC化）	12,000,000	4,000,000	8,000,000
④線路設備（橋マクラギ交換）	10,000,000	3,333,333	6,666,667
⑤線路設備（分岐器融雪装置更新）	15,000,000	5,000,000	10,000,000
⑥線路設備（分岐器材料交換）	2,200,000	733,333	1,466,667
⑦線路設備（道床砕石化）	2,200,000	733,333	1,466,667
⑧停車場設備（ホーム改修工事）	18,000,000	6,000,000	12,000,000
計	71,400,000	23,799,999	47,600,001

3. 収支改善計画について

事業実施にあたり、安全投資の長期計画（5カ年計画）に加え、地域一体となった効果的な収支改善の取組（利用促進策や経費節減策）を実施していくため、別紙の通り収支改善計画の策定し、由利高原鉄道第3次活性化計画との整合をとりながら収支改善を図る。

令和2年度補助事業実施計画書（鉄道軌道安全輸送設備等整備事業）

補助対象事業者名 由利高原鉄道株式会社

(単位：円)

区分	工事内容	補助対象事業の着手及び完了予定日	補助対象経費の配分		補助金額	備考
				配分額		
1 線路設備	道床交換 薬師堂駅構内他1ヶ所 2k100～2k130 4k490～4k560 L=100m 軌道道床	令和3年3月8日 ～ 令和3年3月31日	1) 本工事費（資産の購入を含む） 2) 附帯工事費 3) 補償費	6,000,000	2,000,000	
			合計	6,000,000	2,000,000	
2 線路設備	道床交換 羽後本荘駅構内 0k000～0k100 L=100m 軌道道床	令和3年3月8日 ～ 令和3年3月31日	1) 本工事費（資産の購入を含む） 2) 附帯工事費 3) 補償費	6,000,000	2,000,000	
			合計	6,000,000	2,000,000	
3 線路設備	羽後本荘駅～前郷駅間 マクラギ交換 200本 P Cマクラギ化 200本 マクラギ	令和3年3月8日 ～ 令和3年3月31日	1) 本工事費（資産の購入を含む） 2) 附帯工事費 3) 補償費	12,000,000	4,000,000	
			合計	12,000,000	4,000,000	
4 線路設備	西滝沢駅～吉沢駅間 子吉川橋梁 橋マクラギ交換 90本 マクラギ	令和3年3月8日 ～ 令和3年3月31日	1) 本工事費（資産の購入を含む） 2) 附帯工事費 3) 補償費	10,000,000	3,333,333	
			合計	10,000,000	3,333,333	
5 線路設備	前郷駅構内 融雪装置更新 2台 前郷駅構内 51号P 21号P 分岐器 (融雪設備)	令和3年3月8日 ～ 令和3年3月31日	1) 本工事費（資産の購入を含む） 2) 附帯工事費 3) 補償費	15,000,000	5,000,000	
			合計	15,000,000	5,000,000	

5年 実施年度 計画期間

区分	設備・保存費の区分	整備の概要	令和3年度(2021年)			令和4年度(2022年)			令和5年度(2023年)			令和6年度(2024年)			令和7年度(2025年)			備考
			事業費	整備対象箇所	順位	事業費	整備対象箇所	順位	事業費	整備対象箇所	順位	事業費	整備対象箇所	順位	事業費	整備対象箇所	順位	
設備投資	線路設備	道床交換	6,000	葉前臺構内他1箇所 2k100~2k130 4k490~4k560 L=100m	9	6,000	矢島構内 22k700~23k000	5	6,000	子吉~鮎川 6k190~290	4	6,000	鮎川駅構内 7k270~370	4	6,000	鮎川駅構内 7k270~370	4	令和3年度分事業を令和2年度三次補正で整備
設備投資	線路設備	道床交換	6,000	羽後本荘駅構内 0k000~0k100 L=100m	5	6,000	前郷~久保田間 12k600m付近 100m	5	6,000	子吉駅構内								令和3年度分事業を令和2年度三次補正で整備
設備投資	線路設備	マクラギ交換(PC)	12,000	羽後本荘~前郷駅間 200本PC化	6	6,000	前郷~矢島駅間 100本PC化	4	6,000	羽後本荘~前郷駅間 100本PC化	4	6,000	前郷~矢島駅間 100本PC化	3	6,000	前郷~矢島駅間 100本PC化	3	令和3年度分事業を令和2年度三次補正で整備
設備投資	線路設備	マクラギ交換(木製)	10,000	橋マクラギ交換 子吉川橋梁(90本)	1	20,000	橋マクラギ交換 滝沢川橋梁(200本)	2	20,000	橋マクラギ交換 滝沢川橋梁(200本)	2	10,000	各種マクラギ交換 橋マクラギ90本他 鮎川橋梁	2	10,000	橋マクラギ交換 東滝沢橋梁マクラギ交換	2	令和3年度分事業を令和2年度三次補正で整備
設備投資	線路設備	レール交換			3	2,500	矢島構内 右側レール交換	3	20,000	子吉構内 レール交換	2	10,000	矢島構内 短尺レール交換	2	10,000	矢島構内 短尺レール交換	2	
設備投資	停車場設備	ホーム改良	18,000	葉前臺駅ホーム改良 L=60m 20,000→18,000	2													令和3年度分事業を令和2年度三次補正で整備
設備投資	線路設備	踏切改良			9	4,000	善合踏切 小坂戸踏切小坂											
設備投資	線路設備	橋りょう補修																
設備投資	線路設備	トンネル補修																
設備投資	線路設備	融雪装置交換	15,000	前郷駅 熱風式融雪装置(2台) 周辺機器更新	4	19,500	矢島駅 熱風融雪装置(3台)	1										令和3年度分事業を令和2年度三次補正で整備
設備投資	線路設備	分岐器交換	2,200	前郷駅構内 51号P、21号P 分岐器材料交換	3													令和3年度分事業を令和2年度三次補正で整備
設備投資	線路設備	踏切保安改良工事				5,000	里沢~曲沢駅間 曲沢踏切保安設備 改良工事											
設備投資	線路設備	道床碎石化	2,200	久保田~西滝沢間 14k500~15k050 76.0㎡	8	4,400	前郷駅久保田間 76.0㎡ 12k400~13k350 西滝沢~吉沢間 76.0㎡ 16k130~16k700	6										令和3年度分事業を令和2年度三次補正で整備
設備投資	線路設備	架空線通信線路地中化																
		設備投資計	71,400			67,400			76,000			67,400			23,600			

